# 平成25年度 実施計画・事務事業評価(事後評価)シート

# 実施計画

#### 

-													
Ī	部等名	教育部		課等名	生涯等	学習課	記	1入者	名	庵型	郋	内線	802
	事務事業名	青少年教育充実事	業			事業期間	間	平成		年度	~ 平	·成	年度
ň	総合計画上の 位置付け	基本方針 歴史	基本方針 歴史と文化の薫りが暮らしを彩る教育と住民自治のまちづくり										
		施 策 社会	土会教育の充実										
		細 施 策 青少	青少年教育の充実										
根拠法令・条例、関連計画等													
Ī	予算細々目名		会	計	款	項	目	細目					
		食事業費		1	1	10	6	1	13				
ſ	_												

## 2 事務事業の目的(何のためにするのですか)

地域のリーダー育成事業の一環として、青少年の人間形成に重要な役割を果たす自然とのふれあいや異年齢の交流などを通した野外体験活動の機会を提供することで、青少年が自立への意欲を持ち行動するための必要な資質能力の成長を促し、「生きる力」を育むことを目的とする。また、肥薩おれんじ鉄道の利用促進と併せ、近隣市町での活動を行うことで広域的な市町の理解を深めるとともに、長距離の徒歩や自然の中での体験により、自然の厳しさや恩恵を知り、自然環境に対する興味・関心の醸成を図ることを目的としている。

### 3 事務事業の概要

H24年度の事業概要	H25年度の 事業概要・計画	H26年度の事業計画	H27年度の事業計画
市内の小学5年生から中学3年生産の児童での児童を対している。 1年生までの児童を対している。 1年生までの現金を対している。 1年生までの現金を対している。 1年生までの移動を含まれた。 1月での移動を含まれた。 1月のでは、 1日のでは、 1日の	H24年度の事業概要と同様 定員は24人とする 宿泊地は長島町	H25年度事業の継続	H26年度事業の継続

#### 4 事務事業の対象・手段・意図

-						
文	象(誰・何に対して彳	行う事業ですか	手段(対象に対してどのような活動を行うのですか)			
徒	歩及び野外活動に耐える 内の小学5年生から		遠行(肥薩おれんじ鉄道での移動を含む)、クラフト活動、川遊び、 海水浴、野外炊飯、キャンプ体験などを行う。			
Ī	意図(活動により対象をどのような状態にしたいのですか)					

主体的に行動し、自立への意欲を持ち、また、他人を思いやり、協調することのできる資質能力の成長を図る。

# 事務事業評価(事後評価) 1\_指標の推移

区	分	指	標	名	単位	24年度 実績	25年度 目標	26年度 目標	27年度 目標	年度	終目標 目標値
活動		自然ワ	ンダー体	<b>ぶ</b> 験の旅	回	1	1	1	1	28	1
指標	2										
成果	1		参加人数	ζ	人	22	24	24	24	28	24
指標	2										

$\boldsymbol{\Omega}$	亚	<i>[</i> #
_	<del>#</del> *	価

					ンティア講座開催回数、道路整備延長距離など) 対度を示す数値(ボランティア実施者数、渋滞緩和率など)					
2		評	×1<1H1	価						
		成果		又は実施計画の意図を向上され	せる余地はないですか					
		ロな	V	理由						
	有	<b>■</b> あ	る	青少年の「生きる力」を育むた&  がある。	めには今後も体験活動の場を提供し、活動内容も検討していく必要					
	効性	廃止	:・休	止した場合の影響はあります。	ý»					
	1	■ あ	ري م		幾会が減少している現状からも、本事業のような体験活動の機会を					
		ロな		提供することが必要である。						
			上指標		はないですか 削減について記入してください)					
		ロな	V	理由						
		<b>■</b> あ	る	市内滞任型の内容に見直しを図る の余地はある。	市内滞在型の内容に見直しを図ることで、肥薩おれんじ鉄道を利用しないなどすれば、コスト削減 📗					
	効	類似		の有無と統合の可能性はない。						
	率	ロな	V	理由 キャンプ宿泊を伴う自然体験事業	業として青年の家がわんぱくトライアルを実施している。わんぱく 業、自然ワンダー体験の旅は移動型自然体験事業と違いはあるもの					
	性	<b>■</b> あ	る	トライアルは滞在型自然体験事業の、事業内容の見直し等による						
				者との負担割合は妥当ですか	(受益者負担がある場合に記入してください)					
		■ は	V	理由						
		□ V	いえ	参加者から徴収する参加費は、食事代及び保険料等の一部(8割程度)であり、負担割合としては妥当と思われる。						
	そ	他の	市町	村では実施している事業ですれ	か(県内の他市の状況等を具体的に記入してください)					
ı	0			範囲などの内容に違いはある。 ている事業である。	ものの、キャンプ活動を伴う体験活動という観点では他市で					
3 3		今後	のカ	向性、改善案等(一次)	<b>評価)</b>					
					可性の理由、改善案等					
		<ul><li>□ 拡力</li><li>□ 改善</li><li>□ 統合</li></ul>	善して	. 花が のよう	P地域において体験活動の機会が減少している現状からも、本事業な体験活動の機会を提供していきたい。					
$\stackrel{L}{4}$		今後	の方	向性、改善案等(二次)	評価)					
					<b>向性の理由、改善案等</b>					
		□拡え	大	■ 現行のまま継続						
		□改訂		[継続   一次評     一次評 	価と同様に現行のまま継続とする。					
إ					<i>=\ull_L</i> (\ull_L)					
5 [	1			<b>F<i>向性、改善案等(最終語</i> 生</b> (総合評価)	デ <i>作の</i> 前性の理由、改善案等					
ŀ										
		□拡□			<sup>2</sup> 価と同様に現行のまま継続とする。					
				計 □ 廃止・休止	•					